

温室効果ガス削減アクションプログラム

第二計画期間

温室効果ガス削減計画書等作成支援ツール

操作マニュアル

【一般事業者（事業所）】

2024年4月

仙台市

目次

ツール概要.....	1
<削減計画書作成時の操作手順>.....	2
操作1:「はじめに」シート入力時の操作手順.....	2
操作2:電気事業者及び排出係数の入力.....	4
操作3:「計算シート(基準年度)」シート入力時の操作手順.....	6
操作4:「事業所排出量内訳(基準年度)」シート入力時の操作手順.....	7
操作5:「計画書①(事業所概要・目標)」シート入力時の操作手順.....	13
操作6:「計画書②(取組)」シート入力時の操作手順.....	14
操作7:「計画書③(任意記載)」シート入力時の操作手順.....	15
<削減報告書作成時の操作手順>.....	16
操作1:電気事業者及び排出係数の入力.....	16
操作2:「計算シート(第1～第3年度)」シート入力時の操作手順.....	17
操作3:「事業所排出量内訳(第1～3年度)」シート入力時の操作手順.....	18
操作4:「報告書①(事業所概要・実績)」シート入力時の操作手順.....	24
操作5:「報告書②(取組)」シート入力時の操作手順.....	25
操作6:「報告書③(任意記載)」シート入力時の操作手順.....	30

ツール概要

本ツールは、一般事業者が温室効果ガス削減アクションプログラムにおいて、計画書・報告書での温室効果ガス排出量算定や削減計画等の作成を支援します。シートへの記入方法については「事業者温室効果ガス削減計画書等作成の手引き」を参照してください。

シートの色ごとに作業が分かれています。

- ・黄色シート→まずこのシートから操作します。
- ・青色シート→削減計画書作成時に操作します。
- ・緑色シート→削減報告書提出時に操作します。
- ・赤色シート→基本的に操作はしませんが、評価点を確認することができます。

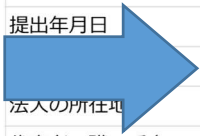
<削減計画書作成時の操作手順>

操作 1: 「はじめに」シート入力時の操作手順

1. 「はじめに」シートの入力欄(水色)にデータを入力します。

計画書	計画期間	2023	年	~	2025	年					
	基準年度	2022	年								
	提出年月日		年		月		日				
届出者	法人の名称										
	法人の所在地										
	代表者の職・氏名										
	代理者の職・氏名										
該当要件	条例第2条第5号イ	<input type="checkbox"/>	①原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所								
	条例第2条第5号ロ	<input type="checkbox"/>	②エネルギー起源CO2を除くいずれかの物質の温室効果ガス排出量が3,000トン以上の事業所								
	条例第2条第5号ハ	<input type="checkbox"/>	③市内に100台以上の自動車を所有する運送事業者								
	一般事業者	<input checked="" type="checkbox"/>	④任意提出事業者								
事業所の概要	事業所の名称										
	事業所の所在地	〒		-							
	産業分類番号										
	事業の概要										
担当者	所属部署										
	住所	〒		-							
	氏名										
	電話番号										
	FAX番号										
	Eメールアドレス										
報告書	提出対象年度	第		年度							
	提出年月日		年		月		日				

2. 「Enter」キーを押下し入力データが確定するとセルの色が水色から白色に変わります。
 入力項目を確認し、次の操作に進んでください

計画期間	2023	年	~	2025	年	計画期間	2023	年	~	2025	年		
基準年度	2022	年				基準年度	2022	年					
提出年月日	2023	年	5	月	1	提出年月日	2023	年	5	月	1		
法人の名称	株式会社 仙台物産						株式会社 仙台物産						
法人の所在地							法人の所在地						
代表者の職・氏名						代表者の職・氏名							
代理者の職・氏名						代理者の職・氏名							
条例第2条第5号イ	<input type="checkbox"/>	①原油換算エネルギー使用量が1,5					条例第2条第5号イ	<input type="checkbox"/>	①原油換算エネルギー使用量が				
条例第2条第5号ロ	<input type="checkbox"/>	②エネルギー起源CO2を除くいずれも3,000トン以上の事業所					条例第2条第5号ロ	<input type="checkbox"/>	②エネルギー起源CO2を除くいずれも3,000トン以上の事業所				
条例第2条第5号ハ	<input type="checkbox"/>	③市内に100台以上の自動車を所有					条例第2条第5号ハ	<input type="checkbox"/>	③市内に100台以上の自動車を所有				
一般事業者	<input checked="" type="checkbox"/>	④任意提出事業者					一般事業者	<input checked="" type="checkbox"/>	④任意提出事業者				

< 排出係数ツールの使い方 >

電気事業者名
入力欄 ①

東京電力

検索 ②

13件見つかりました

<入力時のポイント>
 キーワードとなる電気事業者名の一語を入力して下さい。
 ※(株)、「株式会社」を入力しないでください。
 ※アルファベットの全角/半角は問いません。

③	電気事業者名	排出係数
	東京電力エナジーパートナー(株)メニューA	0.000000
	東京電力エナジーパートナー(株)メニューB	0.000000
	東京電力エナジーパートナー(株)メニューC	0.000000
	東京電力エナジーパートナー(株)メニューD	0.000000
	東京電力エナジーパートナー(株)メニューE	0.000000
	東京電力エナジーパートナー(株)メニューF	0.000000
	東京電力エナジーパートナー(株)メニューG	0.000000
	東京電力エナジーパートナー(株)メニューH	0.000000
	東京電力エナジーパートナー(株)メニューI	0.000000
	東京電力エナジーパートナー(株)メニューJ	0.000000
	東京電力エナジーパートナー(株)メニューK	0.000000
	東京電力エナジーパートナー(株)メニューL(残差)	0.390000

操作手順
 ① 電気事業者名入力欄へ電気事業者名を入力して下さい。
 ② 「検索」ボタンを押して下さい。
 該当する電気事業者名と排出係数が表示されます。
 ③ 転記する電気事業者名を選択して下さい。
 同じ電気事業者でも、契約しているプランにより、排出係数が異なる場合があります。
 再生可能エネルギー電力を活用したメニューで契約の場合は、
 電力事業者を確認し、メニューを選択して下さい。
 それ以外の場合は、(残差)と記載されているメニューを選択して下さい。
 ④ 電気事業者名と排出係数をコピーして下さい。
 ⑤ 転記先の報告書作成支援ツールファイルへ移動して下さい。
 ⑥ 該年度の「事務所排出量内訳」シートを選択して下さい。
 ⑦ 「電気事業者名」欄と「排出係数」欄へコピーしたデータを貼付けて下さい。

※赤枠にキーワードを入力し、その検索結果が緑枠に表示されます。

電気事業者名
入力欄 ①

東京電力

検索 ②

13件見つかりました

<入力時のポイント>
 キーワードとなる電気事業者名の一語
 ※(株)、「株式会社」を入力しないでください。
 ※アルファベットの全角/半角は問いません。

③	電気事業者名	排出係数
	東京電力エナジーパートナー(株)メニューA	0.000000
	東京電力エナジーパートナー(株)メニューB	0.000000
	東京電力エナジーパートナー(株)メニューC	0.000000
	東京電力エナジーパートナー(株)メニューD	0.000000
	東京電力エナジーパートナー(株)メニューE	0.000000
	東京電力エナジーパートナー(株)メニューF	0.000000
	東京電力エナジーパートナー(株)メニューG	0.000000
	東京電力エナジーパートナー(株)メニューH	0.000000
	東京電力エナジーパートナー(株)メニューI	0.000000
	東京電力エナジーパートナー(株)メニューJ	0.000000
	東京電力エナジーパートナー(株)メニューK	0.000000
	東京電力エナジーパートナー(株)メニューL(残差)	0.390000

操作手順
 ① 電気事業者名入力欄へ電気事業者名を入力して下さい。
 ② 「検索」ボタンを押して下さい。
 該当する電気事業者名と排出係数が表示されます。
 ③ 転記する電気事業者名を選択して下さい。
 同じ電気事業者でも、契約しているプランにより、排出係数が異なる場合があります。
 再生可能エネルギー電力を活用したメニューで契約の場合は、
 電力事業者を確認し、メニューを選択して下さい。
 それ以外の場合は、(残差)と記載されているメニューを選択して下さい。
 ④ 電気事業者名と排出係数をコピーして下さい。
 ⑤ 転記先の報告書作成支援ツールファイルへ移動して下さい。
 ⑥ 該年度の「事務所排出量内訳」シートを選択して下さい。
 ⑦ 「電気事業者名」欄と「排出係数」欄へコピーしたデータを貼付けて下さい。

< 事業所排出量内訳(基準年度)シート >

電気事業者からの買電 電気事業者名	昼間買電量 (千kWh)	夜間買電量 (千kWh)	うち非化石 (%)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	昼間排出量 (t-CO ₂)	夜間排出量 (t-CO ₂)
④				④		
合計						

- ①電気事業者名入力欄へ電力会社名を入力します。
- ②「検索」ボタンをクリックします。
- ③表示された検索結果の中から、契約している電気事業者及びメニューを選択します。
- ④計画書・報告支援ツールの「事業所排出量内訳(基準年度)」シートに検索結果の電気事業者名及び排出係数の情報を転記します。

操作 3：「計算シート（基準年度）」シート入力時の操作手順

(参考) エネルギー使用量計算シート															
燃料	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計		
揮発油 (ガソリン) [リットル]															k l
灯油 [リットル]															k l
軽油 [リットル]															k l
A重油 [リットル]															k l
B・C重油 [リットル]															k l
液化石油ガス (LPG) [kg]															t
都市ガス [m ³]															千m ³
電気[kWh]	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計		
②	昼間買電														千kWh
	夜間買電														千kWh
②	昼間買電														千kWh
	夜間買電														千kWh
②	昼間買電														千kWh
	夜間買電														千kWh
②	昼間買電														千kWh
	夜間買電														千kWh
②	昼間買電														千kWh
	夜間買電														千kWh

- ①各月毎の使用量を燃料別に入力します。
- ②事業所排出量内訳(基準年度)シートで記入した電気事業者が転記されます。
- ③各月毎の電気使用量を入力します。

操作 4 : 「事業所排出量内訳 (基準年度)」 シート入力時の操作手順

温室効果ガス排出量内訳 基準年度 (2022年度) 非公表

< 1 >

燃料の種類	使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO ₂)
揮発油 (ガソリン)				kl		
灯油				kl		
軽油				kl		
A重油				kl		
B・C重油				kl		
液化石油ガス (LPG)				t		
都市ガス				千m ³		
輸入一般炭				#N/A		
その他						
産業用以外の蒸気				GJ		
温水				GJ		
冷水				GJ		
その他 ()						
小計						
木材						
プラスチック一般廃棄物						
アンモニア						
溶水・非化石						
その他 ()						
小計						

1. エネルギー起源二酸化炭素 (CO₂) 排出量

熱量合計	0 GJ
原油換算	0 KL
排出量合計	0 t-CO ₂

燃料等の種類	熱量内訳	うち非化石熱量	非化石割合
化石燃料・熱	GJ		
非化石燃料・非化石熱	GJ	GJ	
熱量合計 (電気以外)	0 GJ	GJ	

燃料等の種類	電気使用量	うち非化石電気使用量	非化石割合
電気	kWh	kWh	

2. エネルギー起源二酸化炭素 (CO₂) 以外の温室効果ガス排出量

排出量合計	0 t-CO ₂
-------	---------------------

3. クレジット等による削減量

削減量合計	0 t-CO ₂
-------	---------------------

温室効果ガス削減排出量

削減排出量	0 t-CO ₂
-------	---------------------

4. 原単位の指標

排出原単位	0 t-CO ₂ /
-------	-----------------------

< 5 >

電気の種類	使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO ₂)
電気事業者からの買電	0.00		0.00	千kWh		0.00
昼間買電量 (千kWh)				千kWh		
夜間買電量 (千kWh)				千kWh		0
うち非化石				千kWh		
上記以外の買電				千kWh		
うち非化石				千kWh		
自家発電				千kWh		
自家消費した非化石電気				千kWh		
うち非化石				千kWh		
小計				千kWh		0

< 2 >

熱の種類	換算係数	排出係数
産業用以外の蒸気		
温水		
冷水		
その他の名称	換算係数	排出係数
その他の名称	換算係数	

< 3 >

電気事業者からの買電	昼間買電量 (千kWh)	夜間買電量 (千kWh)	うち非化石 (%) (任意入力)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	昼間排出量 (t-CO ₂)	夜間排出量 (t-CO ₂)
電気事業者名						
合計			0%		0	0

< 6 >

2. エネルギー起源二酸化炭素 (CO₂) 以外の温室効果ガス排出量

温室効果ガスの種類	排出量 (t-CO ₂)
非エネルギー起源二酸化炭素 (CO ₂)	
メタン (CH ₄)	
一酸化二窒素 (N ₂ O)	
六フッ化硫黄 (SF ₆)	
三フッ化窒素 (NF ₃)	
合計	

< 7 >

3. クレジット等による削減量

クレジット等の種類	排出量 (t-CO ₂)
合計	

< 8 >

4. 原単位の指標

原単位の指標 (分母)	
名称	
単位	
数値	

< 4 >

上記以外の買電	買電量 (千kWh)	うち非化石 (%) (任意入力)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	排出量 (t-CO ₂)	換算係数 (GJ/千kWh)	熱量 (GJ)	
オフサイト型PPA					3.600		
自己託送 (非燃料由来の非化石電気)					3.600		
上記以外の自己託送					8.640		
その他買電	名称	買電量 (千kWh)	うち非化石 (%) (任意入力)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	排出量 (t-CO ₂)	換算係数 (GJ/千kWh)	熱量 (GJ)
合計		0	0%		0	8.640	0

自家発電	売電量 (千kWh)	換算係数 (GJ/千kWh)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	排出量 (t-CO ₂)
合計				

自家消費した非化石電気	使用量 (千kWh)	換算係数 (GJ/千kWh)
太陽光		3.600
水力		3.600
風力		3.600
その他 (非燃料由来の非化石)		3.600
合計	0	

※赤枠欄へデータを入力します。赤枠欄へデータ入力しても、セルの色は変化しませんので、ご注意ください。

拡大図<1>

温室効果ガス排出量内訳 基準年度 (2022年度)

1. エネルギー起源二酸化炭素 (CO₂) 排出量

燃料の種類	使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO ₂)
揮発油 (ガソリン)				kl		
灯油				kl		
軽油				kl		
A重油	①			kl		
B・C重油				kl		
液化石油ガス (LPG)				t		
都市ガス				千m ³		
原料炭		④		t		
その 他	②					
産業用以外の蒸気				GJ		⑤
温水				GJ		
冷水				GJ		
その他 ()					⑥	
小 計	-	-	-	-		
木材				-----		
廃プラスチック_一般廃棄物				-----		
アンモニア	③	④		-----		
温水_非化石				-----		
その他 ()					⑥	
小 計	-	-	-	-		

- ①操作 3 で入力した「計算シート」の合計値が転記されます。
- ②その他の燃料を使用している場合はプルダウンリストから燃料を選択し、使用量を入力します。
- ③非化石燃料及び熱を使用している場合はプルダウンリストから燃料を選択し、使用量を入力します。
- ④外部からの供給量がある場合に入力します。
- ⑤産業用以外の蒸気、温水、冷水を使用している場合、“排出量”を入力します。
- ⑥化石燃料におけるその他の燃料を使用している場合、“単位”“熱量”“排出量”を、非化石燃料におけるその他の燃料を使用している場合、“単位”“熱量”を入力します。

拡大図<2>

熱の種類	換算係数	排出係数
産業用以外の蒸気		⑦
温水		
冷水		

その他の名称	換算係数	排出係数
		⑧

その他の名称	換算係数
	⑨

- ⑦産業用蒸気、温水、冷水を使用している場合、“排出係数”を入力します。
- ⑧化石燃料におけるその他の燃料を使用している場合、“名称”“換算係数”“排出係数”を入力します。
- ⑨非化石燃料におけるその他の燃料を使用している場合、“名称”“換算係数”を入力します。

拡大図<3>

電気事業者からの買電 電気事業者名	昼間買電量 (千kWh)	夜間買電量 (千kWh)	うち非化石(%) (任意入力)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	昼間排出量 (t-CO ₂)	夜間排出量 (t-CO ₂)
合計			0%		0	0

- ⑩契約している“電気事業者”とその電気事業者からの“買電量”“うち非化石”“排出係数”を入力します。なお、“電気事業者”と“排出係数”は操作2のとおり「排出係数検索ツール」にて検索した結果を貼り付けます。
- ※電気事業者の非化石電気の割合は、特定の電力メニュー契約等の場合には、当該メニューの非化石証書等の使用割合を元に記入してください。非化石〇〇%メニューといった特定の電力メニュー契約等に関しては、当該割合を記入してください。

拡大図<4>

上記以外の買電	買電量 (千kWh)	うち非化石(%) (任意入力)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	排出量 (t-CO ₂)	換算係数 (GJ/千kWh)	熱量 (GJ)	
オフサイト型PPA	⑪	⑫			3.600		
自己託送(非燃料由来の非化石電気)					3.600		
上記以外の自己託送					8.640		
その他買電	名称	買電量 (千kWh)	うち非化石(%) (任意入力)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	排出量 (t-CO ₂)	換算係数 (GJ/千kWh)	熱量 (GJ)
		⑬				8.640	0
合計		0	0%		0	8.640	0

	売電量 (千kWh)	換算係数 (GJ/千kWh)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	排出量 (t-CO ₂)
自家発電		⑭		

自家消費した非化石電気	使用量 (千kWh)	換算係数 (GJ/千kWh)
太陽光	⑮	3.600
水力		3.600
風力		3.600
その他(非燃料由来の非化石)		3.600
合計	0	

- ⑪ 上記以外の買電のうち、オフサイト型 PPA、自己託送（非燃料由来の非化石電気）がある場合、“買電量”を入力します。
- ⑫ 上記以外の買電のうち、上記以外の自己託送がある場合、“買電量” “うち非化石” “排出係数”を入力します。
- ⑬ 上記以外の買電のうち、その他買電がある場合、“名称” “買電量” “うち非化石” “排出係数”を入力します。
- ⑭ 自家発電による実績がある場合、“売電量” “換算係数” “排出係数”を入力します。
- ⑮ 自家消費した非化石電気のうち、太陽光、水力、風力、その他（非燃料由来の非化石電気）の使用量がある場合、“使用量”を入力します。

拡大図<5>

電気の種類		使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO ₂)
電	電気事業者からの買電	0.00		0.00	千kWh	0.00	
	昼間買電量(千kWh)			⑩	千kWh		
	夜間買電量(千kWh)			⑪	千kWh		0
	うち非化石	0		0	千kWh		
気	上記以外の買電				千kWh		
	うち非化石			⑫	千kWh		
	自家発電買電			⑬	千kWh		
	自家消費した非化石電気				千kWh		
	うち非化石 小計	0		0	千kWh		
	小計				千kWh		0

⑩ 「計算シート（基準年度）」の合計値が転記されます。

⑪ ⑩～⑬で入力した合計値が転記されます。

拡大図<6>

2. エネルギー起源二酸化炭素（CO₂）以外の温室効果ガス排出量

温室効果ガスの種類	排出量 (t-CO ₂)
非エネルギー起源二酸化炭素 (CO ₂)	
メタン (CH ₄)	
一酸化二窒素 (N ₂ O)	
ハイドロフルオロカーボン (HFC)	⑭
パーフルオロカーボン (PFC)	
六フッ化硫黄 (SF ₆)	
三フッ化窒素 (NF ₃)	
合計	

⑭ エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量がある場合、排出量を入力します。

拡大図<7>

3. クレジット等による削減量

クレジット等の種類	排出量 (t-CO ₂)
合計	

拡大図<8>

4. 原単位の指標

原単位の指標 (分母)	
名称	
単位	⑳
数値	

⑱クレジット等による削減量がある場合、“クレジット等の種類”と“削減量”を入力します。

㉑原単位の指標となる“名称”“単位”“数値”を入力します。

㉒入力項目を確認し、次の操作に進んでください。

操作 5：「計画書①（事業所概要・目標）」シート入力時の操作手順

事業者温室効果ガス削減計画書（第二計画期間）

1 事業所の概要

事業者の名称	①
事業所の名称	
事業所の所在地	
主たる業種	

2 温室効果ガスの排出の状況及び排出抑制に係る目標

2023年度 (基準年度)	温室効果ガスの排出の状況	基準排出量	t-CO ₂ /基準原単位	t-CO ₂ /
2025年度 (目標年度)	温室効果ガス排出抑制に係る目標	目標排出量	t-CO ₂ /目標原単位	t-CO ₂ /
		削減率	%削減率	%
2025年度 (目標年度)	非化石エネルギーの使用目標割合 (任意入力)	非化石電気	%	%
		その他非化石エネルギー等	%	%
目標設定の考え方	⑥			

- ①「はじめに」シートで入力した内容が転記されます。
- ②事業所排出量内訳（基準年度）シートから転記されます。
- ③最終年度時の“目標排出量”及び“目標原単位”を入力します。
- ④基準の排出量に対して目標排出量の削減率が表示されます。
- ⑤非化石電気及びその他非化石エネルギー等の“使用目標割合”を入力します。（任意で入力）
- ⑥③で記載した最終年度時の目標排出量及び目標原単位に関して、“目標設定の考え方”を入力します。
- ⑦入力項目を確認して、次の操作に進んでください。

操作 6 : 「計画書②(取組)」 シート入力時の操作手順

3の1 重点的に実施する取組の実施計画（基本対策）

番号	項目	対策内容	実施状況 (基準年度)	実施予定
1	エネルギー管理推進体制の整備	エネルギー管理推進体制が整備されている。エネルギー管理推進体制の中で、エネルギー管理が推進されている。	①	
2	エネルギー使用量の把握	主要なエネルギー使用先のエネルギー使用量を、エネルギー種類別に計測している。計測結果が集計され、記録されている。		
3	省エネルギー教育の実施	省エネルギー、地球温暖化防止に関する研修、教育を定期的に実施し、実施記録を残している。		

拡大図

実施状況 (基準年度)	実施	実施予定
実施済 未実施 非該当		第1年度 第2年度 第3年度 予定なし

① 3の1（基本対策）の実施状況と実施予定は、プルダウンリストから選択します。

3の2 重点的に実施する取組の実施計画（選択対策）

番号	項目	対策内容	実施状況 (基準年度)	実施予定
1	②		②	
2				

拡大図

番号	項目	対策内容
1		
2		<ul style="list-style-type: none"> 外部機関による省エネ診断 生産性管理 エネルギー消費施設管理有価物整備 管理会議（省エネ・CO2削減）の開催 エネルギー使用量の見える化（分析による課題発見） ボイラーの燃費効率の把握・管理 ボイラーの燃費効率の把握・管理 ボイラーの燃費効率の把握・管理 ボイラーの給水及びブローの管理 燃費圧力・温度・供給量の管理 燃費効率の改善記録の残し

② 3の2（選択対策）の項目、実施状況と実施予定は、プルダウンリストから選択します。

3の3 重点的に実施する取組の実施計画（その他の対策）

番号	項目	具体的な取組内容（自由記述）	実施状況 (基準年度)	実施予定
1	③	④	③	
2				

拡大図

番号	項目	具体的な取組内容（自由記述）
1		
2		<ul style="list-style-type: none"> 燃費効率の見える化 CO2削減率の見える化 燃費効率の見える化 燃費効率の見える化 燃費効率の見える化 燃費効率の見える化 燃費効率の見える化 燃費効率の見える化 燃費効率の見える化 燃費効率の見える化

③ 3の3（その他の対策）の項目、実施状況と実施予定は、プルダウンリストから選択します。

④ “具体的な取組内容”を入力します。

⑤ 入力項目を確認し、次の操作に進んでください。

操作 7 : 「計画書③ (任意記載)」シート入力時の操作手順

参考 1 これまで実施した削減対策の実績 (詳細)

番号	対策内容	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂ /年)	写真
1				
2				

対策に係る写真があれば
ここに貼付

参考 2 計画期間内に実施を予定している削減対策 (詳細)

番号	対策内容	実施予定 年度	推計削減量 (t-CO ₂ /年)	写真
1				
2				

対策に係る写真があれば
ここに貼付

記載事項がある場合、赤枠欄へデータを入力します。

また、対策に係る写真がある場合には、写真欄に貼付します。

<削減報告書作成時の操作手順>

操作 1：電気事業者及び排出係数の入力

契約している“電気事業者”及びその電気事業者からの“買電量”“排出係数”は、削減計画書作成時の操作 2 と同様に「事業所排出量内訳(第 1～第 3 年度)」シートの下記に示す赤枠に入力します。

“電気事業者”と“排出係数”は「排出係数検索ツール」にて検索した結果を、手動でコピーし、貼り付けてください。

なお、排出係数検索ツールの使い方については、削減計画書作成時 操作 2 の該当部分をご参照ください。

温室効果ガス排出量内訳 基準年度 (2024年度)

1. エネルギー起源二酸化炭素 (CO₂) 排出量

燃料の種類	使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO ₂)
軽油 (ガソリン)	0.00		0.00	kl	0	0
灯油	0.00		0.00	kl	0	0
軽油	0.00		0.00	kl	0	0
LPG	0.00		0.00	kg	0	0
液化石油ガス (LPG)	0.00		0.00	t	0	0
都市ガス	0.00		0.00	千m ³	0	0
薪				t		
炭				t		
その他						
事業所以外の蒸気				GJ		
温水				GJ		
冷水				GJ		
その他 ()						
小計						0

2. エネルギー起源二酸化炭素 (CO₂) 以外の温室効果ガス排出量

温室効果ガスの種類	排出量 (t-CO ₂ e)
非エネルギー起源二酸化炭素 (CO ₂)	
メタン (CH ₄)	
一酸化二酸化炭素 (N ₂ O)	
六フッ化炭素 (SF ₆)	
三フッ化窒素 (NF ₃)	
合計	

3. クレジット等による削減量

クレジット等の種類	排出量 (t-CO ₂ e)
クレジット等の種類	
合計	

4. 原単位の指標

名称	単位
原単位の指標 (別冊)	
名称	
単位	
数値	

非公表

1. エネルギー起源二酸化炭素 (CO₂) 排出量

熱量合計	0 GJ
原油換算	0 KL
排出量合計	0 t-CO ₂

燃料等の種類	熱量内訳	うち非化石熱量	非化石割合
化石燃料・熱	0 GJ		
非化石燃料・非化石熱	0 GJ	0 GJ	0%
熱源合計 (電気除外)	0 GJ	0 GJ	0%

燃料等の種類	電気使用量	うち非化石電気使用量	非化石割合
電気	kWh	0 kWh	#VALUE!

2. エネルギー起源二酸化炭素 (CO₂) 以外の温室効果ガス排出量

排出量合計	0 t-CO ₂ e
-------	-----------------------

3. クレジット等による削減量

削減量合計	0 t-CO ₂ e
-------	-----------------------

4. 原単位の指標

排出量単位	0 t-CO ₂ /
-------	-----------------------

熱源の種類	換算係数	排出係数
電気使用以外の蒸気		
温水		
冷水		
その他 (名称)		
その他 (名称)		

電気事業者からの買電	買電量 (千kWh)	買電率 (千kWh)	うち非化石 (%) (任意入力)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	買電排出量 (t-CO ₂)	買電率 (t-CO ₂)
電気事業者からの買電						
電気事業者名						
合計	0	0	0%		0	0

上記以外の買電	買電量 (千kWh)	うち非化石 (%) (任意入力)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	排出量 (t-CO ₂)	換算係数 (tCO ₂ /千kWh)	熱量 (GJ)
オフサイト型PPA						3,600
自己調達 (経路由来の非化石電気)						3,600
上記以外の自己調達						8,640
合計						15,840

その他買電	名称	買電量 (千kWh)	うち非化石 (%) (任意入力)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	排出量 (t-CO ₂)	換算係数 (GJ/千kWh)	熱量 (GJ)
その他買電						8,640	0
合計						8,640	0

買電	買電量 (千kWh)	換算係数 (GJ/千kWh)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	排出量 (t-CO ₂)
買電				
合計	0			

買電	買電量 (千kWh)	換算係数 (GJ/千kWh)
買電		
合計	0	

操作 2：「計算シート（第 1～第 3 年度）」シート入力時の操作手順

「はじめに」シートの下部報告年度をプルダウンリストから選択します。

(参考) エネルギー使用量計算シート														
第1年度														
燃料	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	合計
揮発油 (ガソリン) [リットル]													0	0 k l
灯油 [リットル]													0	0 k l
軽油 [リットル]													0	0 k l
A重油 [リットル]													0	0 k l
B・C重油 [リットル]													0	0 k l
液化石油ガス (LPG) [kg]													0	0 t
都市ガス [m ³]													0	0 千m ³
電気[kWh]	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	合計
昼間費電													0	0 千kWh
													0	0 千kWh
夜間費電													0	0 千kWh
													0	0 千kWh
昼間費電													0	0 千kWh
													0	0 千kWh
夜間費電													0	0 千kWh
													0	0 千kWh
昼間費電													0	0 千kWh
													0	0 千kWh
夜間費電													0	0 千kWh
													0	0 千kWh
昼間費電													0	0 千kWh
													0	0 千kWh
夜間費電													0	0 千kWh
													0	0 千kWh

1. 「計算シート（第 1～第 3 年度）」で以下の操作をします。シート内の対応する年度に記入します。

- ①各月毎の使用量を燃料別に入力します。
- ②事業所排出量内訳(第 1～第 3 年度)シートで記入した電気事業者が転記されます。
- ③各月毎の電気使用量を入力します。

操作 3 : 「事業所排出量内訳 (第 1~3 年度)」シート入力時の操作手順

温室効果ガス排出量内訳 基準年度 (2022年度) 非公表

< 1 >

1. エネルギー起源二酸化炭素 (CO ₂) 排出量						
燃料の種類	使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO ₂)
揮発油 (ガソリン)				kl		
灯油				kl		
軽油				kl		
A重油				kl		
B・C重油				kl		
液化石油ガス (LPG)				t		
都市ガス				千m ³		
輸入一般炭				千N/A		
その他						
産業用以外の蒸気				GJ		
温水				GJ		
冷水				GJ		
その他 ()						
小 計						
木材						
プラスチック一般廃棄物						
アンモニア						
蒸気・非化石						
その他 ()						
小 計						

1. エネルギー起源二酸化炭素 (CO₂) 排出量

熱量合計	0 GJ
原油換算	0 KL
排出量合計	0 t-CO ₂

燃料等の種類	熱量内訳	うち非化石熱量	非化石割合
化石燃料・熱	GJ		
非化石燃料・非化石熱	-GJ	GJ	
熱量合計 (電気以外)	0 GJ	GJ	

燃料等の種類	電気使用量	うち非化石電気使用量	非化石割合
電気	kWh	kWh	

2. エネルギー起源二酸化炭素 (CO₂) 以外の温室効果ガス排出量

排出量合計 0 t-CO₂

3. クレジット等による削減量

削減量合計 0 t-CO₂

温室効果ガス総排出量 0 t-CO₂

4. 原単位の指標

排出原単位 0 t-CO₂/

< 2 >

熱の種類	換算係数	排出係数
産業用以外の蒸気		
温水		
冷水		
その他の名称		
その他の名称		

< 3 >

電気事業者からの買電	昼間買電量 (千kWh)	夜間買電量 (千kWh)	うち非化石 (%) (任意入力)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	昼間排出量 (t-CO ₂)	夜間排出量 (t-CO ₂)
電気事業者名						
合計			0%		0	0

電気の種類

電気の種類	使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO ₂)
電気事業者からの買電	0.00		0.00	千kWh	0.00	
昼間買電量 (千kWh)				千kWh		
夜間買電量 (千kWh)				千kWh		0
うち非化石				千kWh		
上記以外の買電				千kWh		
うち非化石				千kWh		
自家発電買電				千kWh		
自家消費した非化石電気				千kWh		
うち非化石				千kWh		
小 計				千kWh		0

< 5 >

温室効果ガスの種類	排出量 (t-CO ₂)
非エネルギー起源二酸化炭素 (CO ₂)	
メタン (CH ₄)	
一酸化二窒素 (N ₂ O)	
ハイドロフルオロカーボン (HFC)	
パーフルオロカーボン (PFC)	
六フッ化硫黄 (SF ₆)	
三フッ化窒素 (NF ₃)	
合 計	

< 6 >

クレジット等の種類	排出量 (t-CO ₂)
クレジット等の種類	
合 計	

< 7 >

4. 原単位の指標	
原単位の指標 (分母)	
名称	
単位	
数値	

上記以外の買電	買電量 (千kWh)	うち非化石 (%) (任意入力)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	排出量 (t-CO ₂)	換算係数 (GJ/千kWh)	熱量 (GJ)	
オフサイト型PPA						3.600	
自己託送 (非燃料由来の非化石電気)						3.600	
上記以外の自己託送						8.640	
その他買電	名称	買電量 (千kWh)	うち非化石 (%) (任意入力)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	排出量 (t-CO ₂)	換算係数 (GJ/千kWh)	熱量 (GJ)
合計		0	0%		0	8.640	0

自家発電	売電量 (千kWh)	換算係数 (GJ/千kWh)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	排出量 (t-CO ₂)
自家消費した非化石電気	使用量 (千kWh)	換算係数 (GJ/千kWh)		
太陽光		3.600		
水力		3.600		
風力		3.600		
その他 (非燃料由来の非化石)		3.600		
合計	0			

< 4 >

※事業所排出量内訳シート (緑色)ヘデータを入力します。赤枠欄ヘデータ入力しても、セルの色は変化しませんのでご注意ください。

拡大図<1>

温室効果ガス排出量内訳 基準年度 (2022年度)

1. エネルギー起源二酸化炭素 (CO₂) 排出量

燃料の種類	使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO ₂)
揮発油 (ガソリン)				kl		
灯油				kl		
軽油				kl		
A重油	①			kl		
B・C重油				kl		
液化石油ガス (LPG)				t		
都市ガス				千m ³		
原料炭		④		t		
その 他	②					
産業用以外の蒸気				GJ		⑤
温水				GJ		
冷水				GJ		
その他 ()						
小 計	-	-	-	-	⑥	
木材				-----		
廃プラスチック_一般廃棄物				-----		
アンモニア	③	④		-----		
温水_非化石				-----		
その他 ()					⑥	
小 計	-	-	-	-		

- ①操作 2 で入力した「計算シート」の合計値が転記されます。
- ②その他の燃料を使用している場合はプルダウンリストから燃料を選択し、使用量を入力します。
- ③非化石燃料及び熱を使用している場合はプルダウンリストから燃料を選択し、使用量を入力します。
- ④外部への供給量がある場合に入力します。
- ⑤産業用以外の蒸気、温水、冷水を使用している場合、“排出量”を入力します。
- ⑥化石燃料におけるその他の燃料を使用している場合、“単位”“熱量”“排出量”を、非化石燃料におけるその他の燃料を使用している場合、“単位”“熱量”を入力します。

拡大図<2>

熱の種類	換算係数	排出係数
産業用以外の蒸気		⑦
温水		
冷水		

その他の名称	換算係数	排出係数
⑧		

その他の名称	換算係数
⑨	

⑦産業用以外の蒸気、温水、冷水を使用している場合、“排出係数”を入力します。

⑧化石燃料におけるその他の燃料を使用している場合、“名称”“換算係数”“排出係数”を入力します。

⑨非化石燃料におけるその他の燃料を使用している場合、“名称”“換算係数”を入力します。

拡大図<3>

電気事業者からの買電 電気事業者名	昼間買電量 (千kWh)	夜間買電量 (千kWh)	うち非化石(%) (任意入力)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	昼間排出量 (t-CO ₂)	夜間排出量 (t-CO ₂)
合計			0%		0	0

⑩契約している“電気事業者”とその電気事業者からの“買電量”“うち非化石”“排出係数”を入力します。なお、“電気事業者”と“排出係数”は操作2のとおり「排出係数検索ツール」にて検索した結果を貼り付けます。

※電気事業者の非化石電気の割合は、特定の電力メニュー契約等の場合には、当該メニューの非化石証書等の使用割合を元に記入してください。非化石〇〇%メニューといった特定の電力メニュー契約等に関しては、当該割合を記入してください。

拡大図<4>

上記以外の買電	買電量 (千kWh)	うち非化石(% (任意入力)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	排出量 (t-CO ₂)	換算係数 (GJ/千 k Wh)	熱量 (GJ)	
オフサイト型PPA	⑪	/	/	/	3.600		
自己託送 (非燃料由来の非化石電気)					3.600		
上記以外の自己託送					8.640		
その他買電	名称	買電量 (千kWh)	うち非化石(% (任意入力)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	排出量 (t-CO ₂)	換算係数 (GJ/千 k Wh)	熱量 (GJ)
		⑬	/	/	/	8.640	0
						8.640	0
合計		0	0%	/	0	/	0

	売電量 (千kWh)	換算係数 (GJ/千 k Wh)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	排出量 (t-CO ₂)
自家発電		⑭	/	/

自家消費した非化石電気	使用量 (千kWh)	換算係数 (GJ/千 k Wh)
太陽光	⑮	3.600
水力		3.600
風力		3.600
その他 (非燃料由来の非化石)		3.600
合計	0	/

- ⑪ 上記以外の買電のうち、オフサイト型 PPA、自己託送（非燃料由来の非化石電気）がある場合、“買電量”を入力します。
- ⑫ 上記以外の買電のうち、上記以外の自己託送がある場合、“買電量” “うち非化石” “排出係数”を入力します。
- ⑬ 上記以外の買電のうち、その他買電がある場合、“名称” “買電量” “うち非化石” “排出係数”を入力します。
- ⑭ 自家発電による実績がある場合、“売電量” “換算係数” “排出係数”を入力します。
- ⑮ 自家消費した非化石電気のうち、太陽光、水力、風力、その他（非燃料由来の非化石電気）の使用量がある場合、“使用量”を入力します。

拡大図<5>

電気の種類		使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO ₂)
電	電気事業者からの買電	0.00		0.00	千kWh	0.00	
	昼間買電量(千kWh)			⑩	千kWh		
	夜間買電量(千kWh)				千kWh		0
	うち非化石	0		0	千kWh		
気	上記以外の買電				千kWh		
	うち非化石				千kWh		
	自家発電買電				千kWh		
	自家消費した非化石電気				千kWh		
	うち非化石 小 計	0		0	千kWh		
	小 計				千kWh		0

⑩ 「計算シート（基準年度）」の合計値が転記されます。

⑪ ⑩～⑬で入力した合計値が転記されます。

拡大図<6>

2. エネルギー起源二酸化炭素（CO₂）以外の温室効果ガス排出量

温室効果ガスの種類	排出量 (t-CO ₂)
非エネルギー起源二酸化炭素 (CO ₂)	
メタン (CH ₄)	
一酸化二窒素 (N ₂ O)	
ハイドロフルオロカーボン (HFC)	⑭
パーフルオロカーボン (PFC)	
六フッ化硫黄 (SF ₆)	
三フッ化窒素 (NF ₃)	
合 計	

⑭ エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量がある場合、排出量を入力します。

拡大図<7>

クレジット等の種類	排出量 (t-CO ₂)
⑱	
合 計	

拡大図<8>

4. 原単位の指標

原単位の指標（分母）	
名称	
単位	
数値	㉓

- ⑱クレジット等による削減量がある場合、クレジット等の種類と削減量を入力します。
- ㉓原単位の指標となる“数値”を入力します。
- ㉔入力項目を確認し、次の操作に進んでください。

操作 4：「報告書①（事業所概要・実績）」シート入力時の操作手順

1 事業所の概要

事業者の名称	①
事業所の名称	
事業所の所在地	
主たる業種	

2 温室効果ガスの排出の状況等

基準年度	2022 年度	基準排出量	t-CO ₂	基準原単位	t-CO ₂ /
目標年度	2025 年度	目標排出量	t-CO ₂	目標原単位	t-CO ₂ /
		目標削減率	%	② 削減率	%
	非化石エネルギーの使用目標割合 (任意入力)	非化石電気	%	その他 非化石エネルギー等	%
第1年度	2023 年度	排出量	t-CO ₂	③ 原単位	t-CO ₂ /
		削減率	%	④ 削減率	%
	非化石エネルギーの使用割合	非化石電気	%	⑤ 非化石エネルギー等	%
排出量等の増減理由	⑥				


- ① 「はじめに」シートで入力した内容が転記されます。
- ② 計画書作成時に入力した内容が転記されます。
- ③ 操作 3 で入力した内容が転記されます。
- ④ 基準の排出量に対して各年度の削減率が表示されます。
- ⑤ 操作 3 で入力した内容が転記されます。
- ⑥ 各年度の排出量の増減理由を入力します。
- ⑦ 入力項目を確認し、次の操作に進んでください。

操作 5：「報告書②（取組）」シート入力時の操作手順

次ページ以降の手順については、該当年度のシートを選択し、入力してください。

（第 1 年度、第 2 年度又は第 3 年度）

2の1 重点的に実施する取組の実施状況（基本対策）				
番号	項目	対策内容	実施状況	
			基準年度	第 1 年度
1	エネルギー管理推進体制の整備	エネルギー管理推進体制が整備されている。エネルギー管理推進体制の中で、エネルギー管理が推進されている。		
2	エネルギー使用量の把握	主要なエネルギー使用先のエネルギー使用量を、エネルギー種類別に計測している。計測結果が集計され、記録されている。		
3	省エネルギー教育の実施	省エネルギー、地球温暖化防止に関する研修、教育を定期的を実施し、実施記録を残している。		
4	空調設定温度の管理	空調設定温度が管理標準（管理マニュアル）で定められている。空調を使用している場所の温度が記録されている。		
5	空調設定温度の管理	室内の二酸化炭素濃度が定期的に測定されている。室内の二酸化炭素量を減らして	第 1 年度、第 2 年度又は第 3 年度	
6	空調機器の保全管理	空調機器、換気設備のフィルターを定期的に清掃・交換している。空調機器、換気設備のフィルターの清掃・交換記録がある。		



... 報告書①（事業所概要・実績） 報告書② 第1年度(取組) 報告書② 第2年度(取組) 報告書② 第3年度(取組)

2の1 重点的に実施する取組の実施状況（基本対策）

番号	項目	対策内容	実施状況	
			基準年度	第1年度
1	エネルギー管理推進体制の整備	エネルギー管理推進体制が整備されている。エネルギー管理推進体制の中で、エネルギー管理が推進されている。		
2	エネルギー使用量の把握	主要なエネルギー使用先のエネルギー使用量を、エネルギー種類別に計測している。計測結果が集計され、記録されている。		
3	省エネルギー教育の実施	省エネルギー、地球温暖化防止に関する研修、教育を定期的実施し、実施記録を残している。	①	②
4	空調設定温度の管理	空調設定温度が管理標準（管理マニュアル）で定められている。空調を使用している場所の温度が記録されている。		
5	空調設定温度の管理	室内の二酸化炭素濃度が定期的に測定されている。室内の二酸化炭素濃度が許容値を超えない範囲で換気量を減らしている。		

①計画書作成時の内容が転記されます。

②各年度の実施状況をプルダウンリストから選択します。

基本対策の実施状況に関する説明・特記事項など

第1年度	③
------	---

③報告年度の基本対策の実施状況について入力します。

2の2 重点的に実施する取組の実施状況（選択対策）

番号	項目	対策内容	実施状況			
			基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
1						
2		④			⑤	

④計画書作成時の内容が転記されます。

⑤各年度の実施状況をプルダウンリストから選択します。

2の3 重点的に実施する取組の実施状況（その他の対策）

番号	項目	具体的な取組内容	実施状況			
			基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
1						
2		⑥			⑦	
3						

⑥計画書作成時の内容が転記されます。

⑦各年度の実施状況をプルダウンリストから選択します

⑧入力項目を確認し、次の操作に進んでください。

○ 選択対策を追加する場合の入力方法

2の2 重点的に実施する取組の実施状況（選択対策）

番号	項目	対策内容	実施状況		
			基準年度	第1年度	第2年度
1					
2					

① 「2の2 重点的に実施する取組の実施状況（選択対策）」の右側にある**選択対策項目追加欄へ移動**をクリックします。

①

選択対策項目追加欄へ移動

第2年度追加（選択対策）

1 外部機関による省エネ診断
2 エネルギー使用量の見える化（前年度比較）
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20

②

③

② 追加する選択対策を、プルダウン選択します。

③ 選択対策実施状況欄へ移動をクリックします。

選択対策実施状況欄へ移動

2の2 重点的に実施する取組の実施状況（選択対策）

番号	項目	対策内容	実施状況		
			基準年度	第1年度	第2年度
1	外部機関による省エネ診断	外部機関による省エネ診断を受診している。提案された対策の一部又は全部を実施している。	実施済	未入力	
2	エネルギー消費機器管理台帳の整備	主要なエネルギー消費機器について管理台帳が整備されている。管理台帳が随時更新されている。	一部実施済	未入力	

④ ②で選択した内容が転記されます。

⑤ 各年度の実施状況をプルダウンリストから選択します。

④

⑤

○ その他の対策を追加する場合の入力方法

2の3 重点的に実施する取組の実施状況（その他の対策）

番号	項目	具体的な取組内容	実施状況		
			基準年度	第1年度	第2年度
1					
2					

その他の対策
項目追加欄へ移動

① 「2の3 重点的に実施する取組の実施状況（その他対策）」の右側にある**その他の対策項目追加欄へ移動**をクリックします。

第2年度追加（その他の対策）

番号	項目	具体的な取組内容
1	環境マネジメントシステムの導入	○○○○○ …
2	SBTやRE100等の国際的な気候変動イニシアティブなど脱炭素経営への取組	○○○○○ …
3		

その他の対策
実施状況欄へ移動

② 追加するその他の対策をプルダウン選択し、具体的な取組内容を記入します。

③ その他の対策実施状況欄へ移動をクリックします。

2の3 重点的に実施する取組の実施状況（その他の対策）

番号	項目	具体的な取組内容	実施状況		
			基準年度	第1年度	第2年度
1	環境マネジメントシステムの導入	○○○○○ …	---	---	
2	SBTやRE100等の国際的な気候変動イニシアティブなど脱炭素経営への取組	○○○○○ …	---	---	
3					

④ ②で選択した内容が転記されます。

⑤ 各年度の実施状況をプルダウンリストから選択します。

操作 6：「報告書③（任意記載）」シート入力時の操作手順

参考 1 計画期間内に実施した削減対策（詳細）

番号	対策内容	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂ /年)	写真
1				
2				
3				

対策に係る写真があればここに貼付

記載事項がある場合、赤枠欄へデータを入力します。

対策に係る写真がある場合には、写真欄に貼付します。

担当：仙台市環境局 脱炭素都市推進部

脱炭素経営推進課 グリーン成長係

電話：022-214-8467

メールアドレス：action_program@city.sendai.jp

このパンフレットはリサイクルできます。「雑誌」に分別しましょう。